未来に向けた津島市まちづくり構想

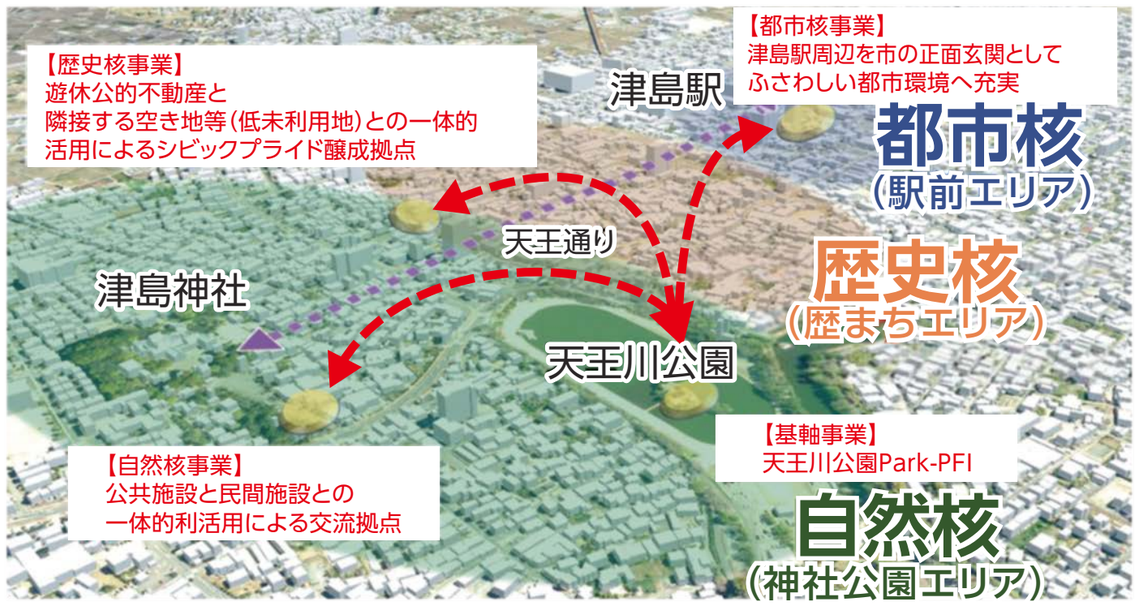
まちづくりの進め方

点・線・面の3段階による取り組みにより、まちづくりの要素を組み合わせて都市再生を推進します。

ステップ1【点】拠点の整備
都市核・歴史核・自然核での
まちづくりの核となる拠点を整備します。

ステップ2【線】軸の整備
各拠点をつなぐ天王通りを
再整備します。

ステップ3【面】エリア価値向上
関係主体の総動員でエリア価値向上、
持続的なまちづくりを実践します。



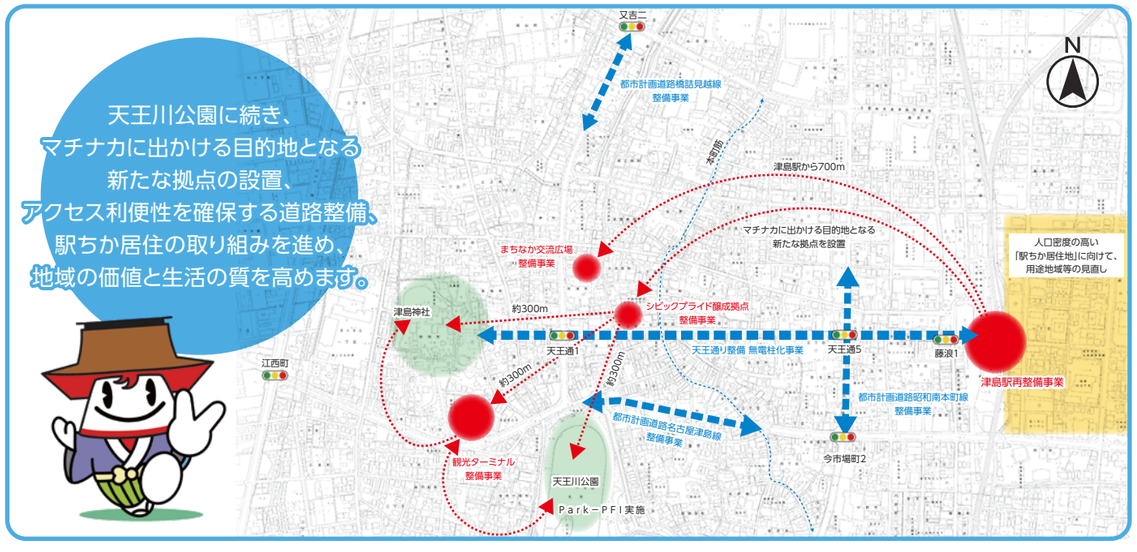
国土交通省 Project PLATEAU　津島市3D都市モデルより

【現在の天王川公園】 公園開設100周年を経て、次の時代に向けた新たな天王川公園が、令和5年7月に完成しました。

スターバックスコーヒー

屋外ステージ

芝生広場



道路や鉄道をはじめとする公共交通ネットワークの強化

愛知県では、リニア中央新幹線の開業や中部国際空港滑走路増設プロジェクトの実現に向けて、国内の地域をつなぐ道路や鉄道を始めとする交通ネットワークの環境整備を促進しています。
津島市においても、まちなかの賑わいや市全体の活性化に向けて、都市間を起点に交通体系を構築していきます。

名古屋津島線バイパスの整備促進

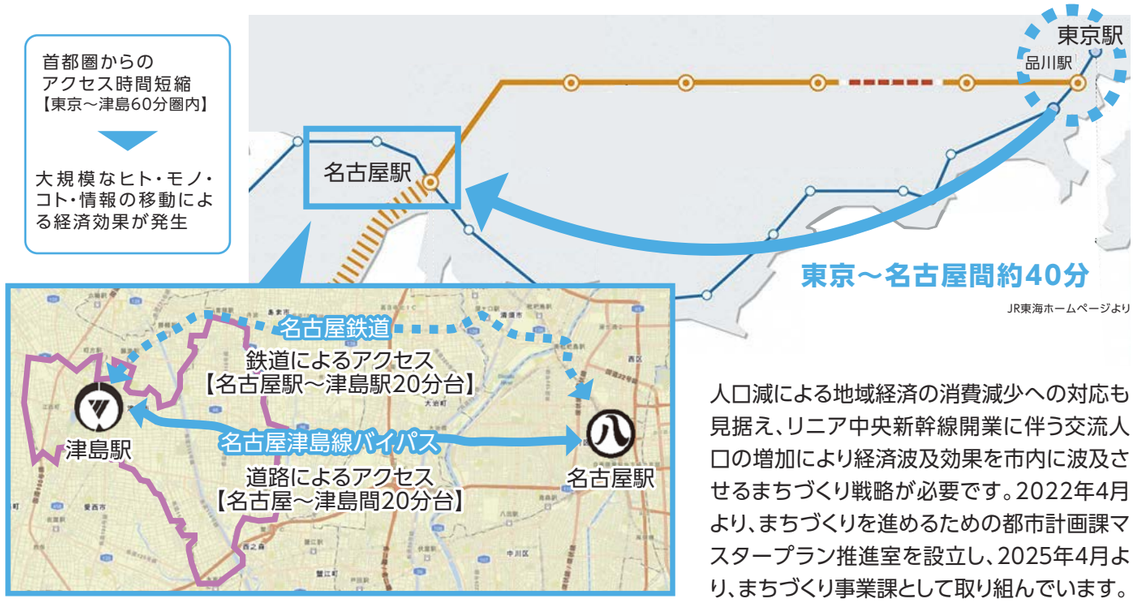
名古屋津島線は、名古屋市と津島市中心部を結ぶ主要幹線道路です。名古屋圏の主要道路ネットワークとなる重要な路線として、また、災害時の緊急輸送道路として、バイパス整備を進めています。

【名古屋津島線バイパス整備済み箇所（あま市内）】

公共交通ネットワークの充実・強化（愛知県）

リニア中央新幹線による効果

リニア開業により、東京（品川）・名古屋間の所要時間が約40分へと大幅に移動時間が短縮するほか、大規模な人の移動による新たな交流が生まれることが見込まれています。
この大きなインパクトを最大限に活かし、時間短縮効果をより広域的に波及させるために、名古屋駅の乗換利便性やアクセス利便性の向上を図り、リニア開業を見据えた公共交通ネットワークの充実・強化に取り組んでいます。



人口減による地域経済の消費減少への対応も見据え、リニア中央新幹線開業に伴う交流人口の増加により経済波及効果を市内に波及させるまちづくり戦略が必要です。2022年4月より、まちづくりを進めるための都市計画課マスタープラン推進室を設立し、2025年4月より、まちづくり事業課として取り組んでいます。